

平成 26 年度活動報告

1. 日本ユニセフ協会委託事業

【目的】専門職としての専門性を活かし、東日本大震災・原発事故により被災した子どもとその保護者及び子どもの健やかな育成を守る行政職員等を対象とした心のケアに関する事業を行う。

【実績】 H26 年 1 月～12 月

事業	参加者 (子ども)	参加者 (大人)	参加者 合計	派遣回数	派遣された 心理士	派遣された 保育士
①ペップ キッズ こおりやま	75人	214人	289人	36回	87人	—
②乳幼児 健診 (白河市)	—	20人	20人	9回	9人	—
③保育所 巡回相談 (郡山市)	事例件数 45件 (子ども数 246人)	コンサル テーション 28人	73人	6か所 9回	17人	—
④親子遊 びと親ミー ティング	2,129人	2,945人 (保健師 含む計上)	5,074人	159回 17市町村 30会場	386人	473人
⑤生協連 「保養プロ ジェクト」	104人	122人	226人	5回 (別に会議 が2回)	11人 (会議に2人)	11人
合計	2,353人	3,329人	5,682人	220回	512人	484人

【研修】

- ・ 2 月 18 日 (火) 保育士研修会
- ・ 3 月 16 日 (日) 当会・一般社団法人東京臨床心理士会子育て支援専門委員会主催「福島親子遊び・健診等の支援についての説明・研修会」(機山館)
- ・ 5 月 2 日 (金) 親子遊びと親ミーティング研修会 (県内支援者対象さんかくプラザ)
- ・ 12 月 12 日 (土)～13 日 (日) 振り返り会議 (飯坂温泉 祭屋湯左衛門)

2. 私学法人課委託事業 緊急スクールカウンセラー等派遣事業

【目的】震災・原発事故の影響により乳幼児、児童生徒の問題行動が多様化・深刻化する状況を踏まえ、児童生徒の心のケア、教職員・保護者等への助言・援助等を行い、児童生徒等が安心して学校生活を送ることができるよう相談業務を行うため、私立幼稚園や学校に緊急スクールカウンセラーを派遣する。

【実績】

- ・幼稚園 44 園、高等学校 2 校、専修学校 5 校、専門学校 5 校の 56 校へ 31 人の臨床心理士を派遣した。

幼稚園	高等学校	専修学校	専門学校	合計	派遣された心理士
44園	2校	5校	5校	56校	31人

- ・緊急スクールカウンセラー等派遣事業 事業説明会

平成 26 年 4 月 16 日（水） いわき産業創造館 会議室 1
平成 26 年 4 月 16 日（水） A・O・Z（アオウゼ） 和室
平成 26 年 4 月 18 日（金） ミューカルがくと館 小ホール
平成 26 年 4 月 19 日（土） ミューカルがくと館 小ホール
平成 26 年 4 月 20 日（日） 東京都 大谷ビル 4 階 401 階

3. 伊達市委託事業『元気アップ復興隊』心と体のケアチーム

【背景】市民の放射能への不安の格差が増大し両極端な現状や特定避難勧奨地点であった地域では心理的負担とコミュニティの危機が継続している。

市民の心の健康のニーズが多様化しており、地域性・個別性さらには一人ひとりの価値観も含めた、総合的な支援が必要な状態である。

【目的】上記のような地域の方々への精神的負担の軽減のための心のケアや子育てをサポートする。

地域の絆を結び、コミュニティの復興をお手伝いする。支援者のメンタルケアや援助も行う。

【実施方法】伊達市健康推進課保健師たちとハートフルハートの専門職（心理士、保育士、運動健康指導士、作業療法士など）の協働による元気アップ復興隊が、地域住民・母子保健・自主避難や帰還親子への 3 領域に対して、ニーズに対応した支援メニューを工夫して支援にあたる。

地域支援：お茶飲み会、個別訪問

母子支援：検診の心理相談、ベビー版親子遊び

自主避難支援・帰還親：ミニ出前講座（山形市・米沢市）

お遊びおしゃべり場（保原保健センター）

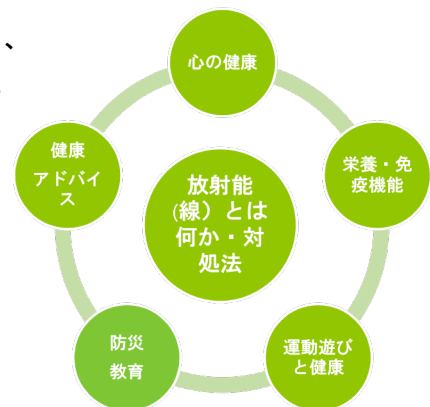
【実績】 H26 年 4 月～H27 年 3 月

事業名	参加者 (子ども)	参加者 (大人)	参加者 合計	派遣回数	派遣され た心理士	派遣され た保育士	派遣された 運動士等
お茶のみ	18人	653人	671人	52回	70人	4人	45人
個別訪問 (地域)	—	53件	53件	37回	41人	—	—
乳幼児 健診			178件	20回	20人	39人	—
個別訪問 (母子)	—	6件	6件	7回	7人	—	—
ベビー版 親子遊び	33人	33人	66人	3回	6人	6人	—
支援者 支援	—	64人	64人	7回	5人	6人	1人
ミニ出前 講座	18人	19人	37人	4回	8人	6人	—
お遊び・ おしゃべり	42人	46人	88人	11回	16人	22人	—
合計	111人	815人 59件	908人 237件	141回	173人	83人	46人

4. 健康増進プログラム「ふくしまの子ども希望プラン」

【目的】 原発事故のあった福島で育つ子どもたち自身が環境を理解し、自ら判断して自分の健康を守り、そのようにできる自分に自己効力感と自尊心を持ち、風評被害もはねのけて自信をもって羽ばたいていける大人になれるように教育する。放射線とは何か、ストレスとは何か、放射線に負けない強い体や心を作るためにはどうしたら良いのかを知り、心も体も健康的に自分で自分を守れるようにトータルな教育を行う。

【実施方法】 平成26年度はお試しの年とし、効果の検証を行った。



1) バス旅行

【目的】 就学前の親子を対象に、放射線量の少ない栃木県わんぱく公園に日帰りで行き、自然の中でリフレッシュしてくる。また、体を思いきり動かして、運動バランスの取れる動きをしてくる。

【内容】 自然とのふれあい、親子遊びと親ミーティング、食育、心理教育。

2) 宿泊型プログラム

【目的】 子どもたちの心と体・運動の機能、生活（食生活を含む）の健康をトータル的にケアし、対処法を教育し育てるプログラムを実施。

【内容】 放射線、栄養・免疫力、運動、心理教育の4講座

①小学校低学年（2泊3日）、②小学校低学年親子（2泊3日）、③小学校中・高学年（3泊4日）を国立磐梯青少年交流の家で実施。

【実績】

バス旅行

平成26年6月15日（日） 1回目の日帰り親子バス旅行（郡山市出発）

平成26年10月26日（日） 2回目の日帰り親子バス旅行（白河市出発）

・1回目は年中・年長中心で募集し、7組の親子が参加（計15人）

- ・ 2 回目は年少・年中中心で募集し、9 組の親子が参加（計 20 人）1 組は当日キャンセル

参加者	3歳児	年少	年中	年長	小1	子ども合計	保護者
1回目	1人	0人	1人	5人	—	7人	8人
2回目	1人	6人	2人	1人	1人	11人	9人
合計	2人	6人	3人	6人	1人	18人	17人

スタッフ	保育士	臨床心理士	看護師	栄養士	学生ボランティア
1回目	3人	4人	1人	1人	8人
2回目	7人	3人	1人	1人	7人
合計	10人	7人	2人	2人	15人

宿泊

- 平成 26 年 8 月 12 日（火）～14 日（火） 低学年コース
- 平成 26 年 8 月 12 日（火）～15 日（水） 中・高学年コース
- 平成 26 年 8 月 21 日（木）～23 日（土） 低学年親子コース

- ・ 低学年、中・高学年コースは、低学年は 16 人、高学年は 15 人が参加
- ・ 親子コースは、6 組（計 17 人）が参加

<参加者>

	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	子ども合計	大人
低学年	—	—	10人	6人	—	—	—	—	16人 男10人 女6人	—
中・高学年	—	—	—	—	4人	5人	5人	1人	15人 男6人 女9人	—
親子	2人	2人	0人	4人	2人	0人	1人	0人	11人 男4人 女7人	6人 父1人 母5人
合計	2人	2人	10人	10人	6人	5人	6人	1人	42人 男20人 女22人	6人 父1人 母5人

<派遣者および講師>

	臨床心理士	看護師・養護教諭	学生ボランティア	保育士（託児）	放射線	栄養・免疫力	運動	ストレス・マネジメント
低学年	5人	1人 養護教諭	12人	—	角山雄一	菊池節子 （栄養）	真砂野裕	山田 富美雄
中・高学年	5人	2人 看護師	8人 （1人キャンセル）	—	角山雄一	菊池節子 （栄養）	真砂野裕	富森崇
親子	5人	1人 養護教諭	6人	2人	角山雄一	宇野 賀津子 （免疫力） 近内 千由里 （栄養）	武田 千恵子	富森崇
合計	15人	4人	26人	2人	—	—	—	—

【講師】角山雄一（京都大学助教） 菊池節子（郡山女子大学准教授）
宇野賀津子（公益財団ルイ・パストゥール医学研究センター）
眞砂野裕（東京都昭島市立拝島第一小学校副校長） 武田千恵子（東京都足立区立足立小学校）
山田富美雄（大阪人間科学大学教授）
成井香苗（当会代表、臨床心理士）、富森崇（当会臨床心理士）

5. その他の活動（学会発表など）

- 8月25日（月）パシフィコ横浜国際会議場にて日本心理臨床学会支援活動委員会シンポジウムにて福島「親子遊びと親ミーティング」の多職種協働の支援の効果調査研究の成果を発表。
- 11月3日（月・祝）ビッグパレットふくしまにて特定非営利活動法人福島子どものころと未来を育む会主催（福島県児童家庭課委託事業）「福島子どものころと未来を育むシンポジウム」で支援活動を発表。
- 11月23日（日）日本大学工学部キャンパスにて FOUR WINDS 乳幼児精神保健学会で親子遊びと親ピア・ミーティングの活動についてポスター発表。